

SDGs新聞

アスクル株式会社

捨てられる商品をどんどん減らそう！

SDGsラジオを読んでみよう！

「アウトレット」という言葉を聞いたことはありますか？

アウトレットとは簡単に言うと、少し傷があったり、売れ残った商品を安く販売することです。

服や靴をイメージする人が多いのではないのでしょうか？

一方アウトレットで販売されない商品は、多くがゴミとして捨てられています。

その中には、化粧品や洗剤などの日用品ももちろんあって、たくさんの商品が捨てられてきました。

そこに注目したのが、さまざまな商品のネット通販を行っている「アスクル」です。

アスクルは2019年から、アウトレットとして販売されることがほとんどなかった化粧品などを商品をつくる企業と協力して、安く販売し捨てられる商品の量を減らす「GO Ethical(ゴー エシカル)」というプロジェクトを立ち上げました。

これによって2024年7月の時点で、約1,600,000個の商品が販売されたんですよ。

みなさんの周りにも、アウトレットだったモノがあるかもしれません。調べてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



がぞうさんしょう 画像参照：「Go Ethical」イメージ(アスクル公式HPより)

さまざまな商品のネット通販をおこなっている会社「アスクル」では、以前から、売れ残ってしまったり、箱やパッケージに傷がついてしまった商品を「アウトレット」で販売していました。一方で、品質にはまったく問題がないのに、パッケージが新しいものに変更になったなどの理由で廃棄処分されていた商品もたくさんあり、大きな課題になっていました。そこでアスクルは、商品をつくらせている会社に協力を呼びかけ、2019年から、「Go Ethical(ゴー エシカル)」という取り組みをはじめました。

「Go Ethical」では、これまでアウトレットとして販売されることがほとんどなかった、化粧品や洗剤などを安く販売し、廃棄処分される商品の量を減らしています。この取り組みを通じて、販売された商品は2024年8月時点で累計170万個にもおよびます。また、「Go Ethical」は、購入する人に「アウトレットになった理由」や「廃棄処分されずに済んだ商品の量」を伝えるところも特徴のひとつです。これによって、「購入した人自身が、どれだけ廃棄処分の削減に貢献できたか」を実感できます。以上の点が評価され、「Go Ethical」は、「令和4年度消費者志向経営優良事例表彰」で「消費者庁長官表彰」を受賞しました。



がぞうさんしょう 画像参照：「Go Ethical」の流れ(アスクル公式HPより)

キーワード

アウトレット

傷がついたり、売れ残ったりした商品を正規の価格よりも安く販売することです。

Ethical

英語で「倫理的な」という意味ですが、ここでは「人や地球環境、社会、地域に配慮した考え方や行動」のことをいいます。

消費者志向経営優良事例表彰

日本の行政機関のひとつである「消費者庁」が毎年実施しているもので、消費者との協力や連携によって行われた優れた取り組みを表彰しています。

対象ゴール



みなさんにできること！

「アウトレット」に目を向けて、廃棄処分される商品の削減に、貢献してみましょう。

- 「売れ残り」などで多くの商品が廃棄されており、問題となっていた。
- アスクルでは「Go Ethical」という、「廃棄処分される商品」を減らす取り組みを行っている。
- 「Go Ethical」を通じて、2024年8月時点で累計170万個を販売している。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



SDGs ラジオ